

## 電気電子工学科の教育課程の編成及び実施に関する方針

電気電子工学科では、日本大学教育憲章（以下、「憲章」という）を基に、専門分野を加味した卒業の認定に関する方針に沿ってコース別の教育課程を編成し実施する。

下表の「憲章」に基づく卒業の認定に関する方針として示された8つの能力（コンピテンシー）を養成するために、全学共通初年次教育科目、教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目の授業科目を各能力に即して体系化するとともに、講義・演習・実験・実習等の授業形態を組み入れた多様な学修方法による教育課程を編成し実施する。

また、学修成果の評価は、専門的な知識・技能および態度を修得する授業科目に関しては、授業形態や授業手法に即した多面的な評価方法により、各授業科目のシラバスに明示される学習到達目標の達成度について判定し、「憲章」に示される日本大学マインドおよび自主創造の8つの能力（汎用的能力）の達成度に関しては、教育課程の体系に基づく授業科目の単位修得状況及び卒業研究の到達度や、学生自身による振り返りと他者との協働における相互理解等をもとに段階的かつ総合的に判定する。

卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針
構成要素（コンピテンス）	能力（コンピテンシー）	
豊かな教養・知識に基づく高い倫理観	【DP-1】 工学にかかわる技術者として倫理観をもち、電子情報通信、電気エネルギーの各技術に関わる社会環境の変化の新たな課題を体系的にとらえ、自主的かつ継続的に解決することができる。	【CP-1】 全学共通初年次教育科目、教養科目、及び電子情報通信・電気エネルギーコースにおける専門教育科目等を通して、科学技術の進歩と社会環境の変化を認識させ、新たな技術の要望に対応できるよう、倫理観を持つとともに、自主的かつ継続的に学習することを通して、広く豊かな知識を学修し、物事を総合的に判断する能力を育成する。
日本及び世界の現状を理解し、説明する力	【DP-2】 国際的な視野に立ってグローバル化する社会の一員として国際社会が抱える社会インフラ等の技術的課題を理解し、説明することができる。	【CP-2】 外国語科目、教養科目等を通して、想定される国内外の社会性のある工学での諸問題を理解し、新たな技術や課題解決に必要な技術を説明する能力を育成する。
論理的・批判的思考力	【DP-3】 電子情報通信、電気エネルギーの各分野における専門知識や技術を体系的に理解していると共に、応用・実践することができる。	【CP-3】 自然科学科目、及び電子情報通信・電気エネルギーコースにおける専門教育科目等の演習を通して、電気電子情報技術者としての基礎を築き、より高度な課題に取り組む能力を育成する。
問題発見・解決力	【DP-4】 電子情報通信、電気エネルギーの理解に必要な自然科学科目と基礎的な情報技術が活用でき、課題を自主的かつ継続的に解決することができる。	【CP-4】 体系的な電子情報通信・電気エネルギーコースにおける専門教育科目等を通して、チームでの貢献を含めた社会貢献に寄与する課題の目標を自ら設定し、計画的に取り組めること及び柔軟で総合的な判断に基づいて解決する能力を育成する。
挑戦力	【DP-5】 持続可能な社会の実現のため、地球環境、エネルギー、健康・生活に関して電気電子工学の立場にたつて考え、将来にわたって、第一線で活躍することができる。	【CP-5】 体系的な電子情報通信・電気エネルギーコースにおける専門教育科目等を通して、新たな困難な問題に自主的かつ継続的に挑戦すること、及び電気主任技術者や教職等の資格取得に挑戦する能力を育成する。
コミュニケーション力	【DP-6】 社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を有し、社会へ貢献することができる。	【CP-6】 全学共通初年次教育科目、教養科目及び電子情報通信・電気エネルギーコースにおける専門教育科目等を通して、集団での活動に必要なITコミュニケーションや外国語によるコミュニケーションを含む他者とのコミュニケーション力を身につけさせ、社会での活躍に必要な健康及び幅広い教養や人間性を養い、自分の技術的な見解を相手に伝える能力を育成する。
リーダーシップ・協働力	【DP-7】 実社会における異なる専門分野の技術者集団の中で、協調と円滑な課題遂行のためのチームワーク力が発揮でき、自己の持つ専門性を発揮することができる。	【CP-7】 全学共通初年次教育科目、教養科目、体育科目、及び電子情報通信・電気エネルギーコースにおける専門教育科目等のチームで行う実験・実習を通して、他者との協働に必要なコミュニケーション力や、課題解決のためのチームワーク力を習得し、自己の役割を果たすこと、および役割に関するリーダーシップを発揮する能力を育成する。
省察力	【DP-8】 工学技術者として、得られた結果や自分と異なる意見を謙虚に受け止め、自己を高めることができる。	【CP-8】 体系的な電子情報通信・電気エネルギーコースにおける専門教育科目等や研究室における活動を通して、他者からの意見及び指摘を真摯に、謙虚に受け止めることにより、自己の活動を高める能力を育成する。